



日本風景街道登録

# 銀山街道 陰陽結ぶ 銀の道

ウォーキング & サイクリングマップ

宇賀 MAP III 笠岡

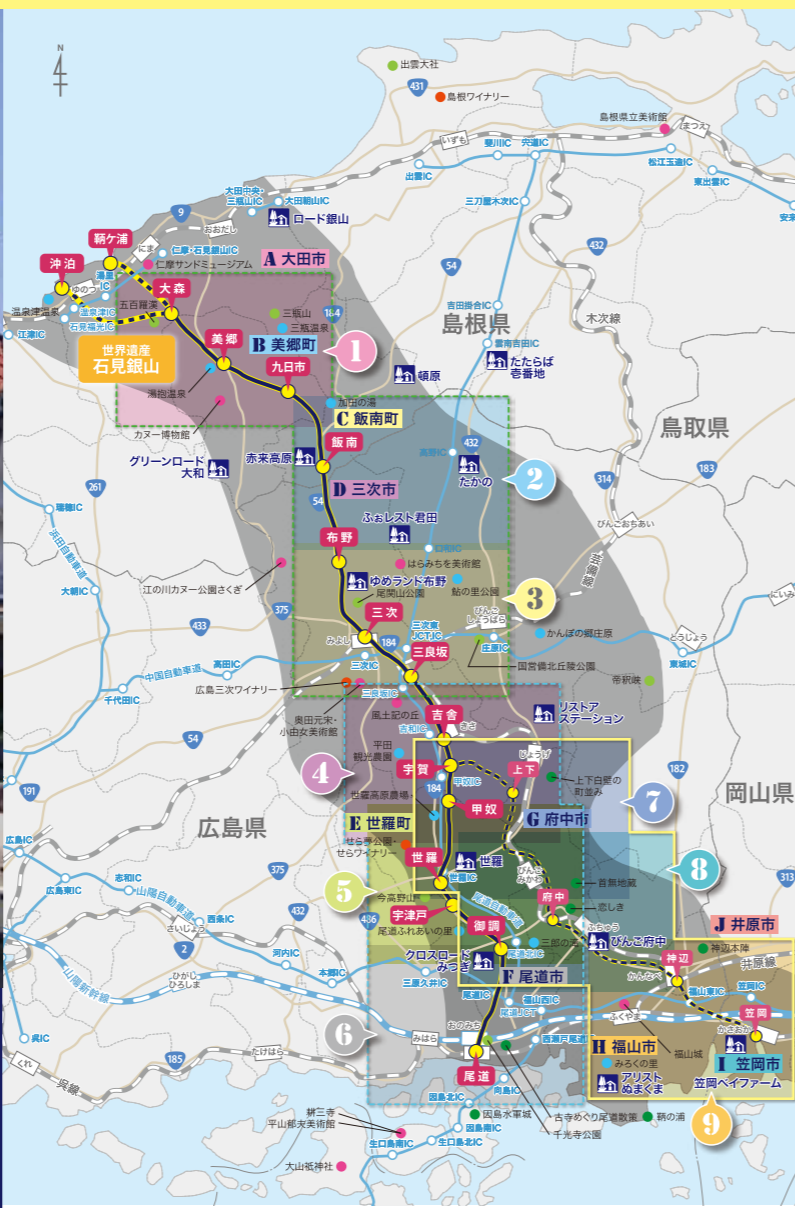
銀山街道沿線市町等連携協議会  
銀の道広域連携実行委員会

沿線地域の観光・施設に関するお問合せ

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>A 大田市</b><br/>（一社）大田市観光協会<br/>☎ 0854-88-9950</p>  | <p><b>E 世羅町</b><br/>世羅町商工観光課<br/>☎ 0847-22-3216</p> | <p><b>I 笠岡市</b><br/>笠岡市観光連盟<br/>☎ 0865-69-2147</p>  |
| <p><b>B 美郷町</b><br/>美郷町観光協会<br/>☎ 0855-75-1330</p>  | <p><b>F 尾道市</b><br/>尾道市観光課<br/>☎ 0848-38-9184</p>   | <p><b>J 井原市</b><br/>井原市地域創生課<br/>☎ 0866-62-8850</p> |
| <p><b>C 飯南町</b><br/>（一社）飯南町観光協会<br/>☎ 0854-76-9050</p>  | <p><b>G 府中市</b><br/>府中市観光協会<br/>☎ 0847-43-7135</p>  |   |
| <p><b>D 三次市</b><br/>《観光情報に関するお問合せ先》<br/>（一社）三次市観光協会<br/>☎ 0824-63-9268<br/>《銀の道に関するお問合せ先》<br/>三次市観光スポーツ交流課<br/>☎ 0824-64-0066</p> | <p><b>H 福山市</b><br/>福山市観光課<br/>☎ 084-928-1042</p>   |   |

銀の道とは・・・  
現在の島根県大田市の石見銀山の中心地であった大森から、銀や鉱石を港に運ぶために利用されていた旧街道のことを言います。「銀の道」には、大森から日本海へ抜ける道と瀬戸内海へ抜ける道とがあります。日本海へ抜ける道は、「瀬ヶ浦道」と「温泉津沖浦道」、瀬戸内海へ抜ける道は灰吹銀を運んだ「尾道道」と運上銀を運んだ「上下・府中・福山道」がありました。大森から尾道の港へは、幕末まで、牛馬300頭と人足400人という大輸送隊が3泊4日の行程で銀を運んでいたといわれています。

この事業は（一社）中国建設弘済会の助成を受けています。



（凡例）

- 石見銀山街道
- 幹線国道
- JR在来線
- 新幹線
- 高速自動車道
- 道の駅
- 銀山街道エリア
- 癒す・遊ぶ
- 買う・食べる
- 見る
- 学ぶ・体験
- 歴史

<p><b>A 大田市</b> 世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」</p>	<p><b>E 世羅町</b> さまざまな花が咲き誇る広大な花観光農園</p>	<p><b>H 福山市</b> 江戸時代からの町並みの残る港町「霧の浦」</p>
<p><b>B 美郷町</b> 雄大な江の川と中国山地の豊かな自然</p>	<p><b>F 尾道市</b> 「箱庭的都市」尾道のまち並み</p>	<p><b>I 笠岡市</b> 穏やかな海を行く笠岡諸島の島めぐり</p>
<p><b>C 飯南町</b> 「日本一大しめ縄の町」大しめ縄創作館</p>	<p><b>G 府中市</b> 明治創業の旅館をリノベーション「恋しき」</p>	<p><b>J 井原市</b> 近代木彫刻界の巨匠田中美術館</p>
<p><b>D 三次市</b> 約450年以上の伝統を誇る三次の箱劇</p>		

## 拠点スポットのご紹介

ご注意ください！  
運行本数が少ない区間もございます。必ず事前に時間をお調べの上、お出かけください。

<p><b>宇賀 UGA</b> 6km</p>	<p>拠点スポット</p> <p>甲奴駅 JR 福塩線 10分 上下駅</p>	<p>甲奴町本郷 10940 毎週月曜日 年末年始</p>	<p>周辺スポット</p> <p>いこいの森弘法山 須佐神社</p>
<p><b>甲奴 KONU</b> 5km</p>	<p>拠点スポット</p> <p>吉米・カーターシビックセンター</p>		<p>周辺スポット</p> <p>須佐神社</p>
<p><b>上下 JYOGE</b> 21km</p>	<p>拠点スポット</p> <p>JR 上下駅</p>	<p>府中市上下町上下 847-1 無</p>	<p>周辺スポット</p> <p>上下のまちなみ 矢野温泉公園四季の里</p>
<p><b>府中 FUCHU</b> 18km</p>	<p>拠点スポット</p> <p>JR 府中駅</p>	<p>府中市府川町 19 無</p>	<p>周辺スポット</p> <p>恋しき 首無地藏</p>
<p><b>神辺 KANNABE</b> 17km</p>	<p>拠点スポット</p> <p>井原鉄道湯野駅</p>	<p>福山市神辺町湯野 86-2 無</p>	<p>周辺スポット</p> <p>菅茶山記念館 備後国分寺</p>
<p><b>笠岡 KASAOKA</b></p>	<p>拠点スポット</p> <p>笠岡市中央公民館</p>	<p>笠岡市笠岡 1866-1 月曜日（第3日曜日の翌日を除く）</p>	<p>周辺スポット</p> <p>笠岡市立カブトガニ博物館 道の駅 笠岡ベイファーム</p>

**MAP II 尾道へ**

笠岡駅から JR 山陽本線 35分  
山陽自動車道（笠岡 IC～福山西 IC）経由 45分

**公共交通機関情報** 上記以外にもご利用いただける手段があります。

上下 25分 中国バス府中上下線 道の駅びんご府中 ※木ノ山：銀の道に隣接

府中 20分 井原線 湯野駅

府中 湯野駅～湯野駅の途中駅 福塩線

神辺 湯野駅 井原線 35分

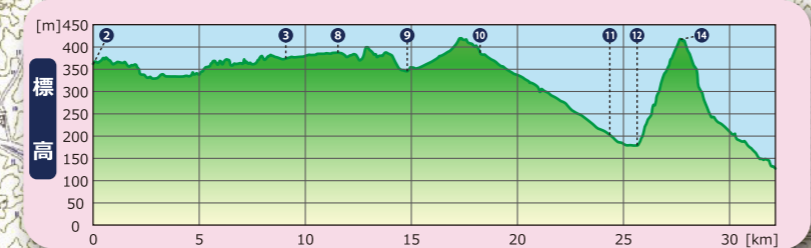
笠岡 笠岡駅前 井原線 30分

甲奴

宇賀



## 江戸時代の天領は 街道の要衝地。



# 7

宇賀
府中

## 銀の道

Walking & Cycling



**① 中山一里塚跡**  
吉舎と甲奴の境界となる峠の頂付近に一里塚の跡が残っていたが、現在、塚は数に覆われ見えにくくなっている。



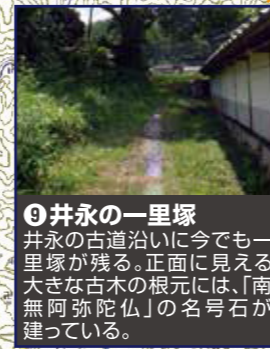
**③ 下野の道標**  
総領町に向かう道との交差点に残っていたと思われる道標。近年の道路改良で新しく作り直され、商店の門先に置かれている。



**⑤ 大黒屋道標**  
上下町の伝統的町並み地区の一角に残されている道標。道路拡幅工事の時、少し移動して残したという。



**⑦ 旧郷宿跡**  
かつて役所の仕事を代行する「郷宿」と呼ばれる公事所があった。その名残を示す虫籠窓やうだつが残されている。



**⑨ 井永の一里塚**  
井永の古道沿いに今でも一里塚が残る。正面に見える大きな古木の根元には、「南無阿弥陀仏」の名号石が建っている。



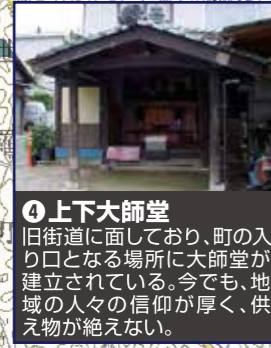
**⑪ 竹内の常夜灯**  
水永の峠を越えてきた道は緩やかに下りながら、小集落を縫うように進む。道沿いには今も常夜灯や辻堂が残っている。



**⑬ 坂根地蔵**  
「かさ地蔵」とも言われ、昭和の初め頃までは近在に知れわたり、多くの参拝者でにぎわっていた。



**② 宇賀の辻堂**  
地元では、郷地蔵(ごうじぞう)さんと呼ばれている。銀の道はこの先で「笠岡ルート」と「尾道ルート」に別れる。



**④ 上下大師堂**  
旧街道に面しており、町の入り口となる場所に大師堂が建立されている。今でも、地域の人々の信仰が厚く、供え物が絶えない。



**⑥ 旧角倉家の横門**  
この門はもともと代官所の門であったが、角倉家が払い下げを受けたもの。すぐ近域の人々の信仰が厚く、供え物が絶えない。



**⑧ 天領代官所跡**  
幕府の天領であった上下には、代官所が置かれていた。現在は役場支所となっているが、石垣は当時のまま残っている。



**⑩ 猫地蔵**  
庄原市東城の猫山に住む古猫が、ここで息絶えたという伝説が残る。その霊を慰めるため地蔵尊を安置したという。



**⑫ 木野山の道標**  
木野山町の旧街道沿いに残っている小さな道標。府中という字が刻まれているのがわかる。



**⑭ 坂根峠の頂上**  
木野山からの峯越えルートに坂根峠がある。頂上付近にはそれを示す碑が建つ。ここから府中市荒谷へと下る。

### 凡例

- <宇賀～笠岡ルート>
  - 銀の道
  - 銀の道(サイクリング)
- <大森～尾道ルート>
  - 銀の道
  - 銀の道(サイクリング)
- 主な施設
- 拠点
- 拠点スポット
- P 駐車場・駐車可能場所
- ♿ トイレ(車いす可)
- 🍴 トイレ
- 🍽️ レストラン・食堂

銀の道(青い線)の一部は、時期によっては草木の生い茂る箇所も有ります。通行が困難な場合は、「銀の道(サイクリング)」ルートをご利用ください。

「銀の道」の大部分は地域の皆さんの生活道路です。交通法規を守り、迷惑運転にならない様、注意して運転してください。

府中



# いにしえの生活文化と 参勤交代の往時をしる。

8

府中  
ふちゅう

神辺  
かんなべ

銀の道

Walking & Cycling



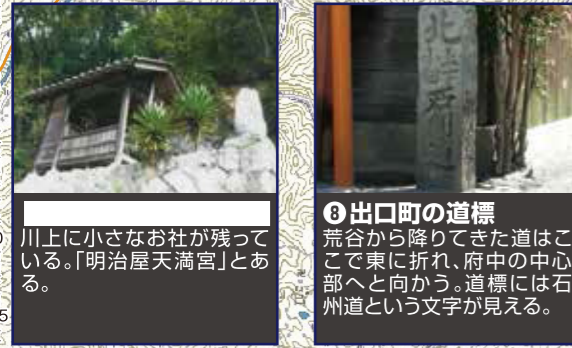
**1 荒谷の古道・茗荷丸**  
木野山からの峯越えルート  
を降りてくると、府中市荒谷  
にはいる。当時の道筋が残  
されており「ササノノミコ  
ト」の伝説がある。



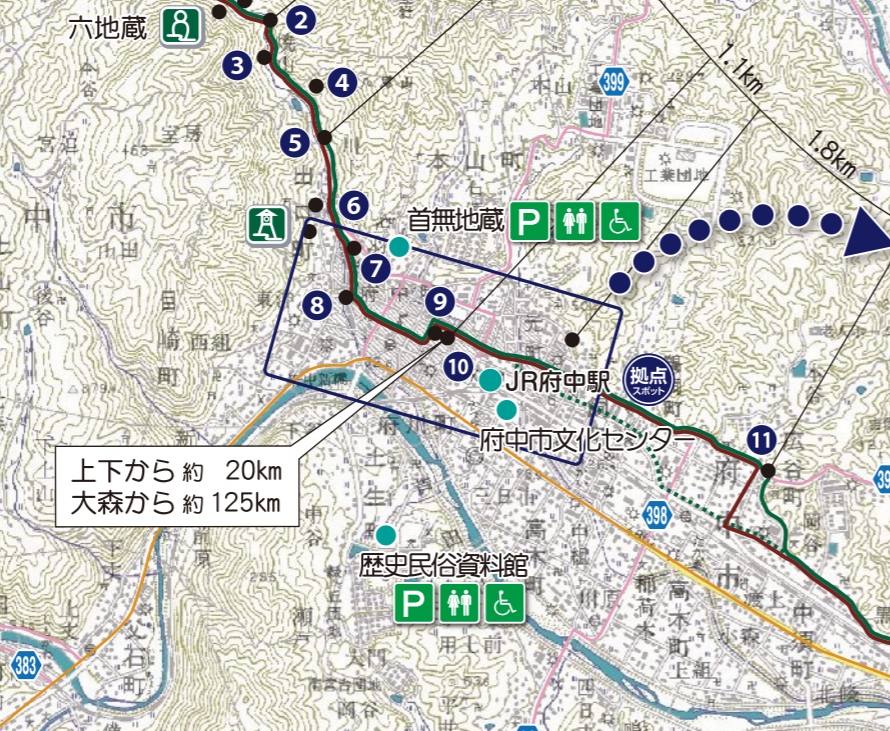
**2 別両路(わかりょうじ)の道標**  
その名の通り、石州街道と  
雲州往還の別れ道にあたり、  
現在も地名として残され  
ている。



**3 川上の梵字岩**  
お堂の後の大岩に彫ってあ  
る梵字は「不動明王」を表  
している。山伏が供養のため  
彫ったという言い伝えが  
残っている。



**4 別両路(わかりょうじ)の道標**  
この地を訪れた江戸時代の  
詩人「菅茶山」が、別両路橋  
の橋台となっている大きな  
岩を見て、この詩を詠んだ。



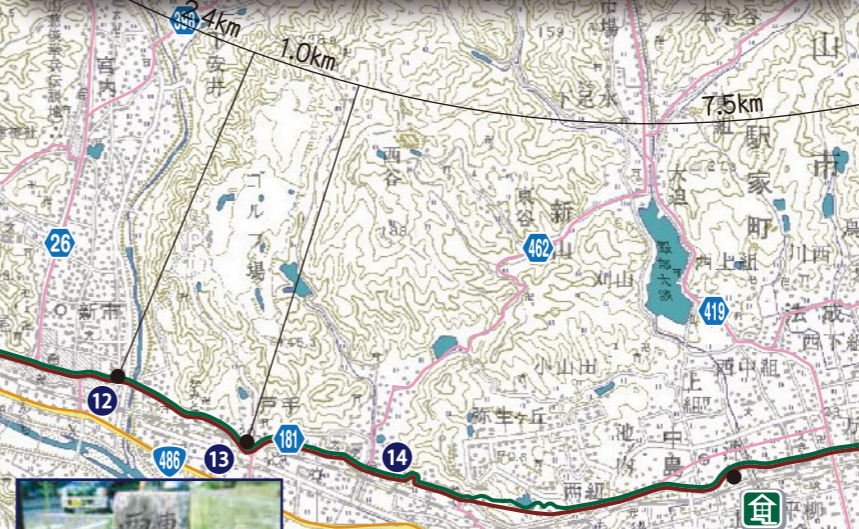
上下から約 20km  
大森から約 125km



**5 甘南備(かんなび)神社**  
府中では唯一の延喜式内社  
で、「コトシロヌシ・オオク  
ヌシ・スクナヒコナ」の3柱  
を祭神とする。



**6 川上の道標**  
荒谷から降りてきた道はこ  
こで東に折れ、府中の中心  
部へと向かう。道標には石  
州道という文字が見える。

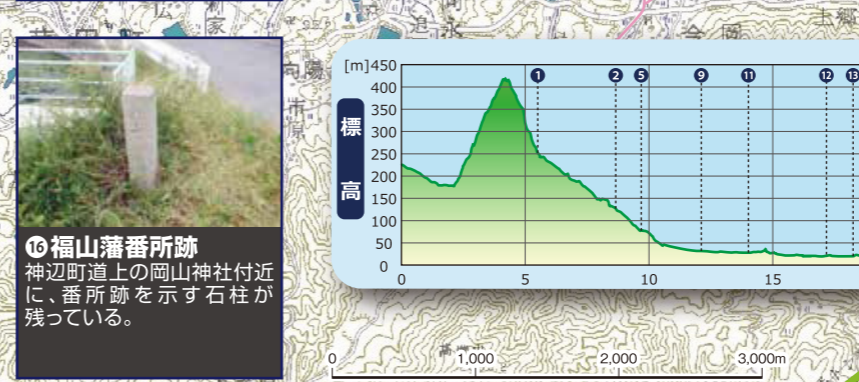


**凡例**

<span style="color: green;">—</span> 銀の道	<span style="color: red;">—</span> 銀の道(サイクリング)
<span style="color: green;">●</span> 主な施設	<span style="color: blue;">●</span> 拠点スポット
<span style="background-color: green; color: white; padding: 2px;">P</span> 駐車場・駐車可能場所	<span style="background-color: lightblue; padding: 2px;">♿</span> トイレ(車いす可)
<span style="background-color: green; color: white; padding: 2px;">♻️</span> トイレ	<span style="background-color: lightblue; padding: 2px;">🍴</span> レストラン・食堂

銀の道(青い線)の一部は、時期によっては草木の生い茂る箇所も有ります。  
通行が困難な場合は、「銀の道(サイクリング)」ルートをご利用ください。

「銀の道」の大部分は地域の皆さんの生活道路です。  
交通法規を守り、迷惑運転にならない様、注意して運転してください。



この地図は、国土院の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。承認番号平30信撰第575号

神辺

複製不許可

9

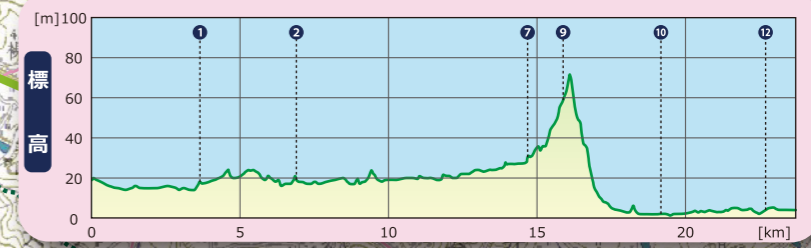
神辺 (かんなべ)

笠岡 (かさおか)

銀の道 Walking & Cycling

歴史文化の香り高い  
町並みを経て瀬戸内へ。

神森神社  
うしとらさん  
石州往来  
東亜池  
地蔵堂  
おつぼうさん  
身がわり地蔵さん  
山陽自動車道  
新池  
滑池



**① 福山藩番所跡**  
神辺町道上の岡山神社付近に、番所跡を示す石柱が残っている。



**③ 石州道石標**  
この道標は、かつて山陽道と石州道の交差点付近に立っていた。現在は、下御領の八幡神社境内に残されている。

**⑤ 地神さん**  
文政12年(1829)に吉野地区の氏子が奉納した。備中地方では、五角柱の地神は山陽道以南に見られると言われている。

**⑦ 峠の番所跡**  
笠岡は幕府直轄領として福山藩から切り離された。その際、坪生の地は国境となり、この番所も重要性を増した。

**⑧ 坪生の古道**  
笠岡へのルートはいくつかあって、この竹やぶをぬける道もその1つと考えられる。古道がそのまま残っている。

**⑩ 地神石柱**  
有田踏切をこえた新しい道沿いに五角柱の石塔があり、各面には天照大神をはじめ5つの神様の名前が刻まれている。

**⑬ 笠岡代官所跡**  
笠岡は、徳川開幕当時から直轄領だった。1700年に初めて笠岡に代官所が置かれ、「井戸平左衛門」も代官を務めている。

**凡例**

- 銀の道
- 銀の道(サイクリング)
- 主な施設
- 拠点スポット
- P 駐車場・駐車可能場所
- ♿ トイレ(車いす可)
- ♿ トイレ
- 🍽️ レストラン・食堂

銀の道(青い線)の一部は、時期によっては草木の生い茂る箇所も有ります。通行が困難な場合は、「銀の道(サイクリング)」ルートをご利用ください。

「銀の道」の大部分は地域の皆さんの生活道路です。交通法規を守り、迷惑運転にならない様、注意して運転してください。

笠岡

上下から約 54km  
大森から約 159km

複製不許可

道の駅笠岡ベイファーム

笠岡市立 カブトガニ博物館

